

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 バリアフリー観光普及啓発事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3149) E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,608 千円 (前年度予算額：1,600 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,600	782	0	0	0	0	0	0	818
要求額	1,608	804	0	0	0	0	0	0	804
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

コロナ禍において、世界中でSDGs (持続可能な開発目標) への関心が一層高まりを見せる中、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、誰もが安心して旅行を楽しめるハード・ソフト両面での受入環境整備が求められる。

そこで、県内観光施設等のバリアフリー状況やモデルコース等の情報を発信することにより誘客促進を図るとともに、一般県民や観光関係者に対する啓発事業を展開し、心のバリアフリー化につなげる。

(2) 事業内容

- ①バリアフリー観光情報の発信 (545 千円)
- ②バリアフリーツアー動画の制作・配信 (1,031 千円)
- ③バリアフリー観光推進協議会の開催 (32 千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県内全体を対象にしており、県負担は妥当

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,608	H P 管理運営、情報発信、動画制作、協議会開催

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ④ 観光産業の基幹産業化

第3期岐阜県障がい者総合支援プラン

- 3 福祉のまちづくりの推進
- (1) ひとにやさしいまちづくりの推進

(2) 国・他県の状況

- ・「バリアフリー観光」に関する予算の有 22 団体 / 47 団体
- ・「バリアフリー観光」に関する調査の有 15 団体 / 47 団体

(3) 後年度の財政負担

障がいのある方、高齢者、訪日外国人など、誰もが安心して県内を旅行できる環境を整えることは、SDGs の理念に即した取組であり、県として必要な事業である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 障がい者や高齢者など、誰もが安心して県内を旅行できるよう、情報発信の充実による誘客促進及び啓発事業の展開による観光関係者等の心のバリアフリー化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
観光消費の経済波及効果						%
観光入込客数（実数）						%
外国人延べ宿泊数						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 WEBサイト「ふらっと旅ぎふ」による情報発信及び啓発セミナー、研修動画の制作・配信（計5本）を実施した。 バリアフリー観光情報の発信により、県内外からの観光誘客及び観光消費額の増加につながっている。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念に即し、多様化する観光ニーズに応えることは、県の責務であり、県の関与は妥当
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	バリアフリー観光情報の発信により、県内外から観光誘客及び観光消費額の増加に繋がっている。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	バリアフリー観光推進協議会の開催を通じ、関係団体等との情報共有、意見交換を行うことにより、多様な意見を施策に反映し、事業の効率化を図っている。

(今後の課題)

<p>事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>コロナ禍において多様化する観光客のニーズに応えるため、バリアフリー観光に対する県内観光関係者の更なる理解促進が必要</p>
--

(次年度の方向性)

<p>引き続き、バリアフリー観光情報の充実・発信及びオンラインによる啓発事業を展開する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	